



ラーチャブルック

# ราชพฤกษ์

※「ラーチャブルック」はタイを代表する花、ゴールデンシャワーをタイ語で表現したものです。

校長 谷口 幸一郎

## 合唱祭

9月18日に中学部の合唱祭が行われました。本来、合唱とか合奏とかは全員が一堂に会して、それぞれが自分のパートを演奏したり歌ったりしてハーモニーを奏でるものですが、今それができないコロナ禍にあります。それでもあるプロオーケストラの楽団がオンラインでチャレンジしている番組で見ることがありました。さすがにプロ演奏者たちでも、テンポや音程を合わせるのがとても難しそうでした。そのような中、中学部の**合唱祭をオンライン**で行うと聞いたとき、**難しいのでは**と思いました。けれども、一人一人が配信されてきた歌や伴奏に合わせて、自分のパートを練習し、最終的に自ら歌っている姿と声の動画をアップロードしてくれました。これを学校側で画面構成、音程、ピッチ、強弱などを調整し、さらに子供たちの進行やコメントなどを加えて合唱祭という作品を作り上げました。相当な労力と時間を使いましたが、完成された作品を見た時、**これまでにない感動**を覚えました。

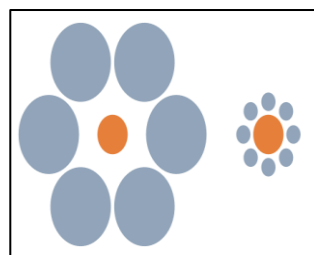


オンライン合唱は画面越しに一人一人の歌っている様子がとてもよく分かり、生合唱とは違ったよさがあるような気がします。

さて、今回は「合唱祭」ということで、本校の通常の合唱コンクールとは違う形をとりました。すべての**学級に子供たちが自ら考えた「賞」**が与えられました。どのクラスにとってもいい思い出になったと思います。最後に、このような取組を行った中学部の生徒の皆さん、そして教科担任の先生方にも大きな拍手を送ります。 **「ブラボー」**

## 見え方が違う？

右の中心部の円の大きさは？多くの方は、右の円が大きく見えるのではないのでしょうか。これは**エビングハウス**（ドイツの心理学者名）**錯視**と言って、周りの円によって本来のものの大きさが違って見えるという現象です。



このことは、通常の生活でも起こっていることだと思います。何かを比較する際、私たちは何気なく、基準を定めています。例えば、「あの人はお金持ちである」と言ったときに、話し手によって基準が異なっているので、このことが真に事実であるかどうかは分かりません。また、ものの考え方にも当てはまることではないでしょうか。人それぞれ、考えも違うし置かれている条件も異なります。そして、人が人とコミュニケーションをとるためには、**相手の立場に立って物事を考える**習慣をつけることが大切です。

子供たちは外国に住んでいます。ややもすると日本と比較し、**日本がスタンダードだと思いがち**です。タイの中で日本の生活を求めがちです。せつかくタイに住んでいるのですから、タイの言葉をはじめ、自然、文化、歴史そして考え方に触れさせる機会を作ってあげてください。(When in Rome, do as Romans do.)